

溝に水が溜まっているほ場は、湿害を受け、養分を吸収できず、葉色が淡くなっています。排水口や溝を手直しして排水を促し、生育の回復に努めましょう。

また、基肥一発肥料（Jコート大麦48号）を使用していないほ場は追肥を施用し、穂数不足を防止しましょう。

## 1. 排水の徹底

冬期間の降雨などで、排水溝が崩れたり、溝に水が溜まっているほ場は、早急に手直ししましょう。

### 【排水対策の主なポイント】

- ①崩れた排水溝の手直し
- ②溝の連結及び排水口の点検・補修
- ③排水口の掘り下げ
- ④停滞水が見られる場合は速やかに排水溝を増設する



※ 水が流れるように溝を手直しする

## 2. 消雪後の追肥（分施栽培）

※分施栽培のほ場は、消雪後、速やかに実施して下さい。

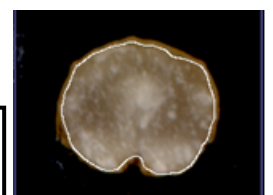
| 肥料名 | 施用量(kg/10a) |
|-----|-------------|
| 硫 安 | 20          |

※基肥一発肥料（Jコート大麦48号）を使用しているほ場は、葉色が淡くても「消雪後の追肥」は施用しないでください。

硝子粒（右の写真参照）が増加し、品質が低下します。

### 管理のポイント！

追肥前までに排水溝の手直しを行い、ほ場中の排水対策を実施しましょう。



硝子粒(切断面が透きとおる)